

# 練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩昌子 小沼綾子 田場洋和 吉田巳藏  
事務局：森田彦一 TEL: 03-3951-4276 FAX: 03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

## 「改憲」反対と「核廃絶」署名に旺盛に取り組もう！ 署名用紙と新年会の出欠・区長選呼びかけ人諾否も森田宛封筒で20日必着へ！

「核廃絶」の取り組みの意義は前号「会だより」で有原さんに原稿をお書きいただきましたが、今号では森田氏に「改憲」反対3000万署名についてお書きいただきました。両署名用紙を同封いたしました。子供さん、ご両親それにご近所、友人にも呼びかけて、署名用紙をコピーして広げてくだ

さい。区長選呼びかけ人の諾否・1月6日の新年会・同27日の経済講座学習会の出欠通知も同封いたしました。いずれも20日必着で森田宛封筒でご連絡ください。82円切手が必要ですので、申し訳ありませんが、その切手代はご負担お願い致します。  
(田場記)

## 新年会は1月初頭の6日（土）午後2時～ 区役所20階交流会場で アトラクションは桂南なんさんの落語、「自衛隊」関連DVD上映も計画

恒例の新年会は今回も1月初頭の6日（土）午後2時～区役所20階交流会場で行います。準備、設営にご協力いただけるスタッフの方は1時集合、新年会は2時開始です。

今回のアトラクションは久しぶりに落語の桂南なん師匠、あとは例年通り談笑・スピーチですが、会費は2,000円。軽食・飲料も「文化」の視点から十分なものを用意したいと思いますが、「差し入

れ」勿論大歓迎ですので、お心がけ頂ければ幸いです。

野党区議、イベント実施にご協力いただいた区内市民団体、労働団体関係者にも参加案内をお出しする予定です。2月10日に予定している「東京五輪」関連のビデオも上映する計画を進めています。出欠通知は同封連絡票を森田宛封筒で連絡お願いいたします。  
(田場記)

## 第3回「経済」公開講座&フリートークのご案内 2018年1月27日（土）午後2時～ココネリ多目的会議室 テーマ：「労働・雇用問題と国民生活～雇用身分社会の到来か～」 講師：眞嶋康雄（国学院大学経済学部兼任講師 資料代：¥300

今回は深刻化する雇用・労働問題を扱います。「働けど我が家暮らしは楽にならず、じっと手を見る、財布を見る」状況になっていますが、政府は「働き方改革」と称して「残業代0、働くかせ放題」「過労死公認」実施を企ています。また、失業率や求人倍率の改善をアベノミクスの「成果」としていますが、実態は規定に問題がある「完全失業率」が3.1%、失業者数は205万人だが、職に就かない380万人の就職希望者、隠れ失業者の存在がある。また、有効求人倍率全体は1.5倍だが正社員は0.99、パートは1.8、土建・土木4.9、福祉2.3と実は低賃金構造の中のミスマッチによる「求人難」である。2012年度～2016

年度までに全企業の当期純利益は24兆円から50兆円へと倍増したが大企業の労働分配率は43.5%に低下。OECD調査では男女の賃金格差は30ヶ国中最大、日本女性の格差は30%～40%にもなる。勤労者の汗と涙の結晶をピンハネし、権利を奪う戦前の「女工哀史」を再現させる状況になろうとしています。以前の「新・経済講座第3回賃金・給料と国民経済」に引き続き、雇用・労働問題の解説を行います。また、これまでに連載した「新・経済連続講座」や「公開講座&フリートーク」に関する疑問や質問にお答えする時間も設ける予定です。ぜひ、皆さんのご参加をお待ちしています。  
(眞嶋記)

## 「安倍9条改憲NO！」署名活動にご協力ください

総選挙を終えて、安倍自公政権は、歯止めがないほど、ますます暴走を進めています。市民の運動も立憲野党と組んで、連日学習会、街頭行

動で抗議の意思を示しています。練馬でもいくつかの学習会が開かれました。

その一つとして行われた練馬革新懇の「アベ改

憲STOP！憲法を生かす政治を！～総選挙の結果を受けて～」清水雅彦日本体大教授の講演からその主旨をまとめました。

### 1. 安倍首相らの最近の改憲論

日本会議の伊藤哲夫・岡田邦弘氏は、まず、公明党など改憲政党の意見を少しでも取り入れ、9条の加憲などですすめ、その後は「美しい日本」を取り戻すのであって、納得しないかもしれないが、とりあえず改憲を進めることです。と安倍のプレーンは、何としてでもいちど会見を行うという姿勢です。

### 2. 9条改憲論の検討

＜自民党＞ 自衛隊の明記、教育の無償化・充実強化、緊急事態対応、参議院の合区解消など4項目を中心に改正を目指す。

＜公明党＞ 憲法9条1項2浩は、憲法の平和主義を体現するもので、今後とも堅持する。自衛隊の存在は憲法上明記せよ。

＜日本維新の会＞ 教育の無償化、道州制の実現、憲法裁判所の設置、9条の改正。

＜希望の党＞ 課税自主権、財政自主権と自衛隊については論議を含める。

＜立憲民主党＞ 9条を守るが、領域警備法の

制定と周辺事態法の強化を目指す。

＜社会民主党＞ 憲法を守り、その他は、憲法改正でなくても出来る。

＜日本共産党＞ 市民と野党が力を合わせて、憲法全体を守る。

### 3. 9条解釈と9条の意義

### 4. 9条「加憲」論の検討

### 5. 憲法の平和主義の意義

### 6. その他改憲論

総選挙の結果は、地域でいかに野党共闘を作っていくかの重要性を明らかにした。

これからは、総がかり行動、全国市民アクションに結集して行動しよう。

個人的には①自己満足で終わらない ②若者に働きかける ③自己規制・萎縮・忖度せず言うべきことを言うにつき、（レジュメが欲しい人は、事務局の森田まで。送ります）

練馬では、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名駅宣」を12月8日(金)の18時～19：00まで石神井公園駅前で行います。署名用紙を同封しました（取扱団体はねりま9条の会）。

森田宛の返信封書（82円切手必要）を20日必着でお送りください。

(森田記)

## 「東京五輪」テーマにした学習会、2月10日（土）後2時～区役所地下会議室で 講師に谷口源太郎氏招き、「平和とスポーツ」の原点を学び、論議しよう！

相撲界の暴力沙汰騒動は日馬富士の引退で落着したように見えますが、新聞・テレビなどのマスコミ報道では「相撲の原点」「スポーツの原点」に関する論議はほとんどなかったように思います。2020年の東京五輪も、メダル争奪戦に関する報道は詳しいのですが、スポーツ、五輪の原点について触れる報道はほとんどありません。五輪の歴史を振り返ると、ヒトラーが1936年ベルリン五輪開催をテコに戦争への道をつきすみ、モスクワ五輪がソ連のアフガニスタン侵攻で多数の国が参加をボイコットしたり、来

年の韓国の平昌冬季五輪の開催期間中は北朝鮮、アメリカ双方に軍事演習をやめるよう求める国連決議がされるなど、五輪は「戦争と平和」と常に向き合った中で実施されてきました。この7月15日に行われた練馬区民集会「平和・基地」分科会では、「子どもがあぶない！～狙っているぞ！オリンピック・自衛隊～」をテーマにした学習会が行われましたが、今回は「平和なくして、文化（スポーツ）なし」を基軸に学習会を組み立てています。会場は定員200名。お気軽にご参加ください。

(田場記)

### しみん大望年会（12月24日後2時～ココネリホール）にご参加を！ 参加費1500円（ドリンク・つまみ付き）で交流深めましょう

今年も例年と同じように「しみん大望年会」が12月24日後2時～4時、ココネリホールで、会費500円（缶ビール1本におつまみ付き）で開催

されます。追加の飲み物も用意しております。差入れはもちろん大歓迎です。

練馬区におけるさまざまな活動のステージで

の出し物などがあり、今年もまた楽しめる出し物を用意してありますので気楽に楽しんでいただけだと思います。また、練馬区を中心にしてさまざまな活動を行っている団体の報告等があり、今どのようなことが練馬で問題になっているかを知ることができます。中には関心のある団体の報告もあったりして、ご一緒に活動する

ようなことも可能です。

練馬・文化の会は実行委員会のメンバーとして、クローケを担当することになりました。

当日お手伝いできる人がおられましたら事務局にまでご連絡ください。

気楽な会で、出入り自由ですので皆さんのが参加をお待ちしております。

(巻田記)

## 練馬区政を区民みんなが参加して“チェンジ”しよう 11.28 の10,000人委員会発足集会に50名が参加

来年4月8日公示、15日投票で、練馬区長選と練馬区議補選が行われます。

いま、練馬区は、天下り官製区長である前川氏が、国や都の下請け行政を積極的に進め、その目線は区民ではなく、常に国、都にあります。

駅前再開発、道路開発は進みましたが、子供の未来に明るさは見えないし、高齢者にとっては、医療費の値上げが続き、生活困窮者が増加しております。行政の効率化によって出張所が廃止されますます不便となり、行政と区民の間は遠ざかるばかりであります。

このままでは、練馬区民の声が、区政に全然反映されないと、練馬区民が立ち上りました。ともかく一緒になって前川区政を変えようということです。

28日の発足集会には、50名が参加いたしましたが、野党の日本共産党、生活者ネット、市民の声、福祉フォーラム、立憲の会、オンブズマンが参加の意向を示し、議席を持っていません

が、新社会党、社民党も参加の意思を表明しております。また、前回の立候補者である池尻成二、白石けい子、菊池紘さんも応援してくださっております。

何としても「前川を倒そう」という意思を共感しました。前回でも、統一していれば勝てるという状況でありましたので、今回こそまとまって勝とうという意気込みです。

この「みんなでつくる「未来区ねりま」—1,000人委員会—は、この前川体制をどうしても変えていこうという人たちによって維持されます。

まず、会費1,000円を払って参加してください。それで呼びかけ人になりましょう。まずは、1,000人をめざし、10,000人を集めたいと思っております。事務局長は、私森田彦一と沖山一雄の二人体制で進めたいと思っております。同封の入会呼びかけにぜひ応じて、一緒に頑張りましょう。

(森田記)

## 11月11日に第2回『経済』公開講座—消費税と税制の歪みを解説

11月11日(土)午後2時～5時、豊玉リサイクルセンターで第2回「経済」講座を開催。「消費税と税制の歪み」を解説、2015年度の本当の税収(73.4兆円)と一般会計税収(57.2兆円)、その差額が各税還付金(15.1)。8%増税でも税収増とはならず、本当の負担率は13%(?)、巨額の輸出還付金、各税還付金のカラクリなどに関心が集まりました。税制や消費税は重要な問題ですので、今後

機会がある度にお話ををしていきたいと考えています。

(眞嶋記)

(追記：事務局) 「会だより」と同封したチラシの経済講座の開始時間の告知にミスがあり、後日出したチラシ等で正確な時間を告知しましたが、後の祭り。2名ほど、間違った時間で参加されました。眞嶋講師と参加者に多大な迷惑をかけ改めてお詫び申しあげます。

## 新刊紹介：「あなたが気づかないだけで神様もゲイも いつもあなたのそばにいる」(平良愛香著) 麗梨ReNa記

著者とワタシは、日本キリスト教団の認可神学校である農村伝道神学校の同窓。1998年春、

29歳だった彼は男性同性愛者(ゲイ)を公言した日本国内初の牧師となり、各方面から注目さ

れる存在に。本書が彼にとっては初めての単独による著作だが、非常勤講師を務めている立教大学の教え子が学研に入社し、熱心に勧めてきたことが本書刊行のキッカケらしい。まるで日常会話のように平易で親しみやすい文体で書かれているのでスラスラ読み進められるだろう。以下はややネタバレになってしまふが少々内容を紹介。

前半は主に彼の生育歴。牧師家庭に生まれ育ち保守的なミッション系スクールに入学したゆえに自己のセクシュアリティと“聖書の教え”との狭間での葛藤を強いられたことや、ありのままの自分を受け入れてくれた親友の存在、初めて買ったゲイ雑誌を見ながらさとうきび畑の茂みの中で行った自慰行為、キリスト教によるセクシュアルマイノリティへの無理解を改めさせるべきことを彼氏から要求されたことなどが赤裸々に綴られる。とりわけ、極めてユニークで先進的な教育観・社会観を持つ母親による彼へのサポートぶりをとても印象的に記している。

後半は大学における講義内容の書き起こしを

中心に、セクシュアルマイノリティを受け入れるどころか「性」を語ること自体を暗黙のタブーとしてきたキリスト教界の旧い体質に斬り込んで行く。語り口が穏やで丁寧なので反発はされにくいとは思うが、それでもミッション系女子大学での彼の講演会を聴講した外部の女性から、「あなたのような牧師がいるからキリスト教が堕落する」と激しく罵られたという。しかしそれに激怒した学生たちが次々に立ち上がって抗議をしてくれたことに彼はいたく感謝している様子だ。

本書は、自分がセクシュアルマイノリティであることを受け入れることが出来ない人々へのエールのみならず、思春期以降の全ての世代／全てのセクシュアリティの人々に向けたメッセージである。神学校で彼との出会いがあったからこそバイセクシュアルおよびXジェンダーを公言し得ることになったワタシもお薦めしたい。が、本書の刊行により保守派の教会から従来以上のバッシングが出ることも予想され、理解されにくく「セクマイ中の少数派」たるワタシは更なる微妙な立場に置かれるかも知れない。

## **会員3名（有原、小岩、猿田）の活動が大手紙社会面トップ記事に登場 (各記事のコピーを同封：いずれも正確な記事です。よくお読みを！)**

我々の考え以上に会員個人個人の活動は社会的に注目されています。それが10-11月の大手新聞社の記事で証明されました。まず10月15日琉球新報に共同通信配信で猿田佐世弁護士が「弁護士が米でロビー活動—基地や原発、市民目線で」紙面全面を割いて紹介され、次いで10月29日の東京新聞で小岩昌子さんの風船爆弾の語り部活動が「体験者として『語り部を続けたい』として、そして有原誠治監督が1月9日の赤旗で「筋痛性脳脊髄炎を知ってほ

しい一患者会が重症患者の日常を映画に－治療法開発促進訴え」としてそれぞれ各紙面トップの囲み記事として紹介されています。

このうち、小岩さんの「風船爆弾」語り部活動は武藏大学に統いて中央大学の学生さんにも取材され「女学生と風船爆弾」というドキュメンタリー作品が完成しています。有原作品、小岩作品は広く上映会に取り組むことが問われています。

(田場記)

- 12月幹事会は12月21日（木）午後7時～ココネリ第2研修室東です。
- 年会費（2000円）未納の方には振込用紙同封しました。会費は年間前年5月～翌年4月の勘定です。  
納入状況のお問い合わせ等は鶴田さんまで（3948-5129）